
『モバイルビジネスの転換』
-携帯電話の高速通信化と収益モデルの変化-
(参考資料)

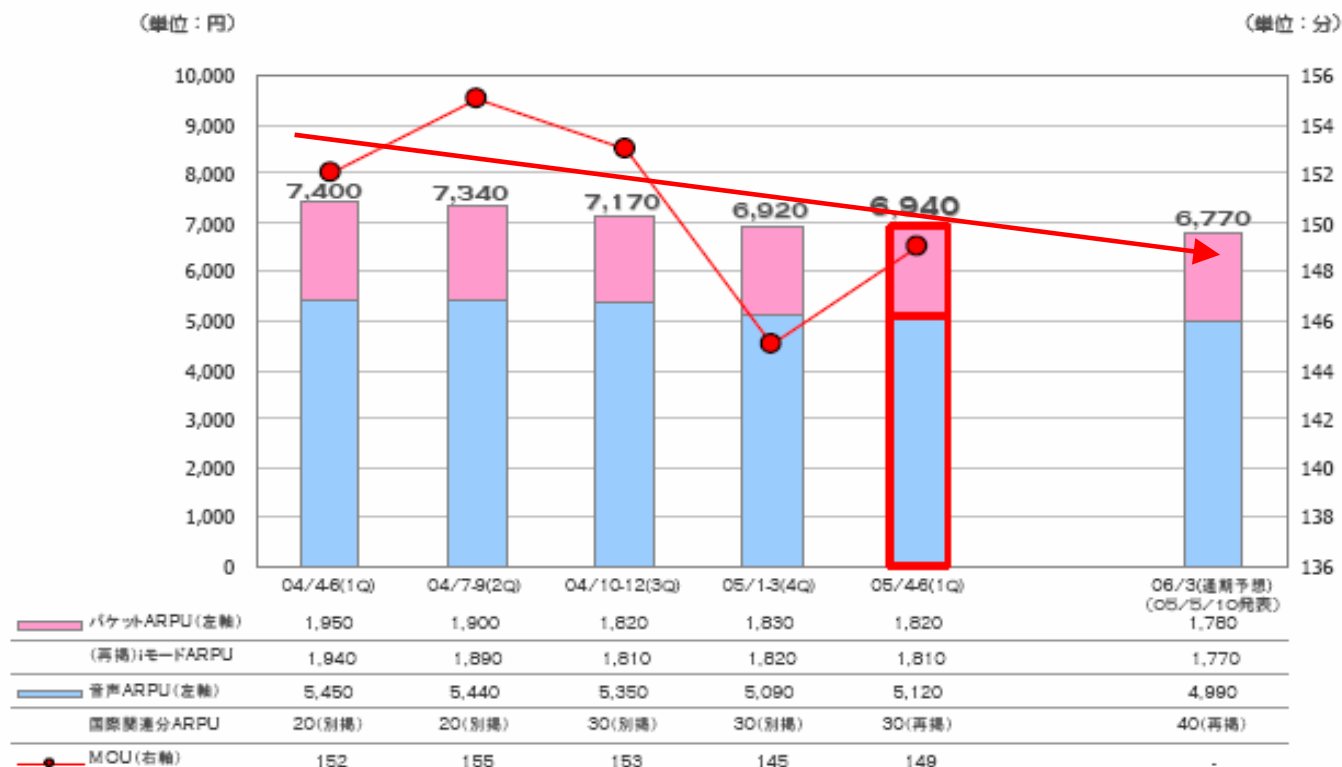


作成者:田中 晃

1) 携帯電話事業者のARPU推移

下図はNTTドコモのARPUの推移である。パケットARPU、音声ARPUともに減少傾向である。

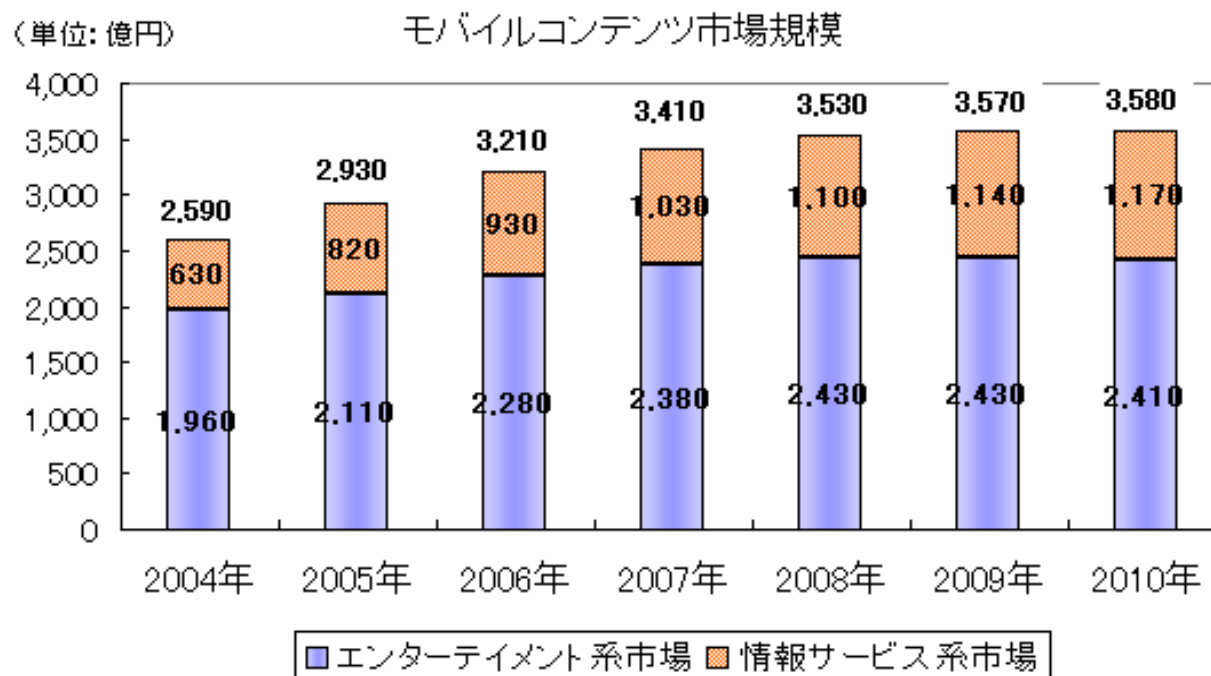
〈NTTドコモ ARPUの推移〉



NTTドコモ決算資料より引用

2) モバイルコンテンツ市場規模予測

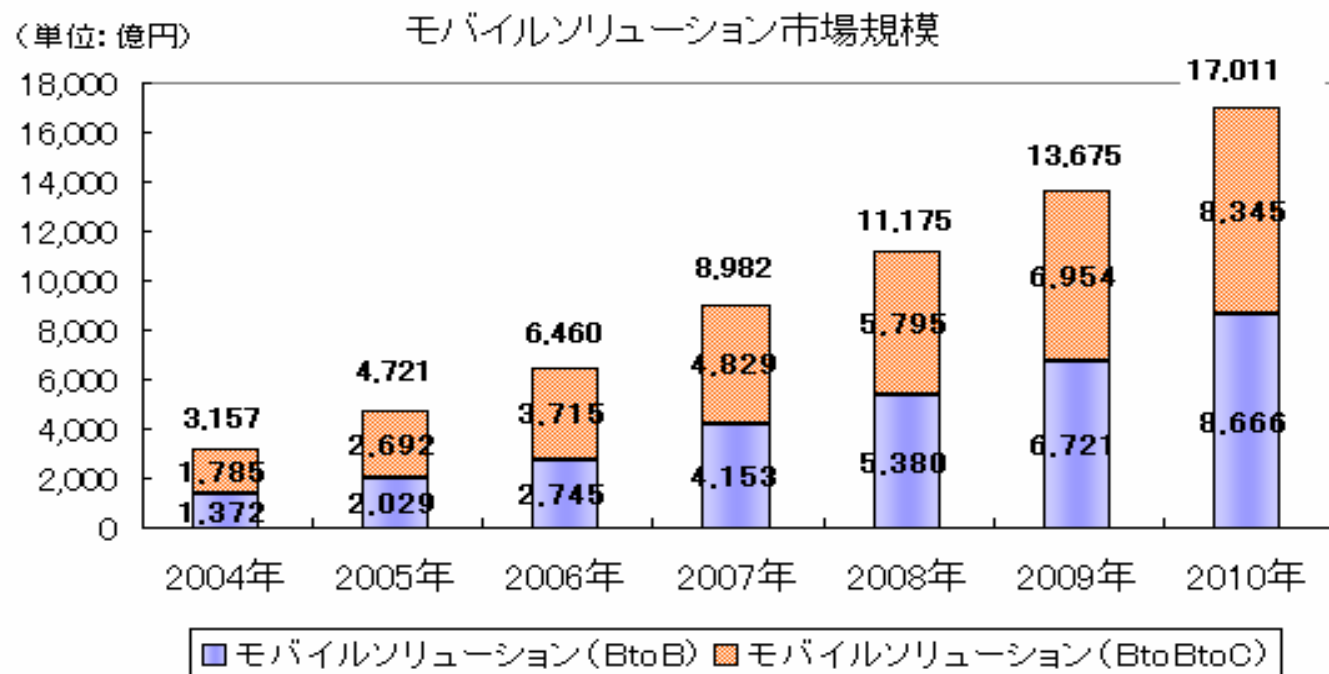
モバイルコンテンツ市場は、2,930億円と前年比で10%以上増加している。今後も市場成長は続くものの、これまで市場を牽引してきたエンターテインメント系の市場成長率が鈍化すると予測される。



エンターテインメント系市場の定義は『着信メロディ』、『ゲーム』、『壁紙ダウンロード』などの市場を指す。
情報サービス系市場の定義は『ニュース』、『天気予報』などの市場を指す。
データはNRI発刊資料『IT市場ナビゲーター2006年度版』より引用

3) モバイルソリューション市場予測

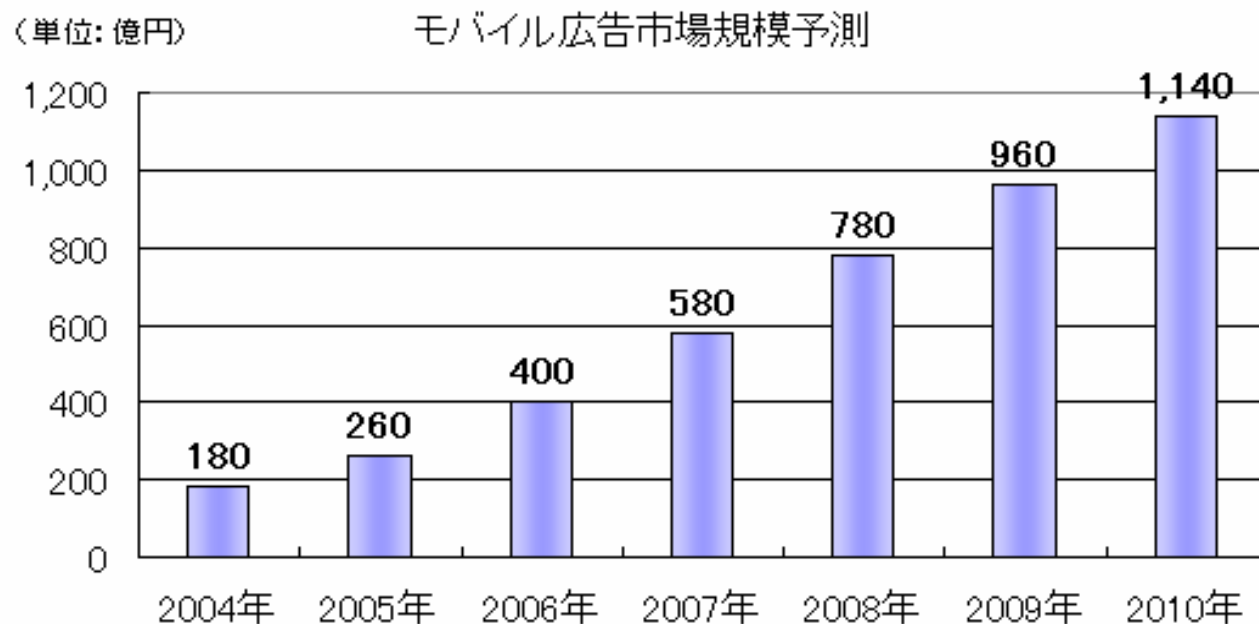
モバイルソリューション市場はモバイル系の通信ネットワークの高速化などインフラが充実することから、ECサイトの構築需要や、法人向けのモバイルソリューション(グループウェアとの連携など)需要が増加する。



モバイルソリューション市場の定義は携帯電話での利用に強く依存しているアプリケーション開発とその保守・運用を指す。
 BtoBtoCモバイルソリューション市場として『モバイルサイト構築』を主に指す
 BtoBモバイルソリューション市場として『モバイルセントレックス』、『グループウェア』、『SFA』、『CRM』、『ERP』を指す。
 データはNRI発刊資料『IT市場ナビゲーター2006年度版』より引用

4) モバイル広告市場規模予測

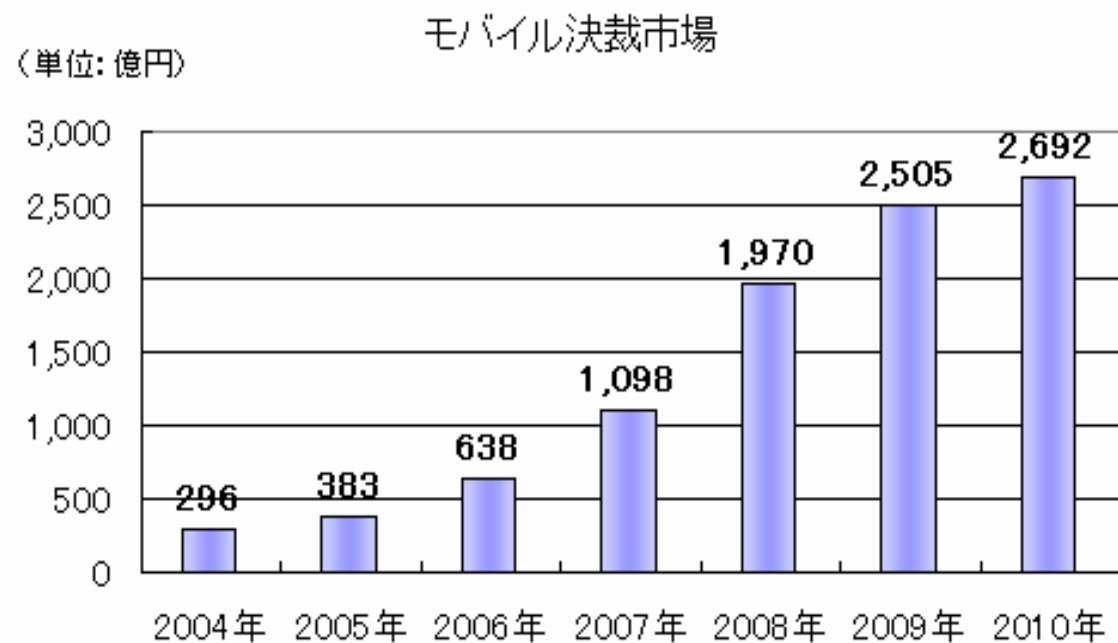
モバイルソリューション広告市場はモバイルソリューションと同様に通信ネットワークの高速化などインフラが充実することから、例えば動画を利用した広告など、様々な広告形態が出現し、結果市場は拡大すると見込まれる。



モバイル広告市場の定義は携帯端末上で表示する情報サイト上での広告、及びメールによる広告配信などを指す。
データはNRI発行資料『IT市場ナビゲーター2006年度版』より引用

5) モバイル決済市場規模予測

モバイル決済市場は『Suica』や『Edy』に代表される非接触型ICカードの普及しているほか、NTTドコモが2006年4月より、携帯電話にクレジット機能を搭載するなど携帯電話利用者がモバイル決済を利用する環境は整いつつあり、市場は拡大すると予測される。



モバイル決済の定義は携帯電話を利用して決済を行った場合の手数料の積算である。
データはNRI発刊資料『IT市場ナビゲーター2006年度版』より引用

6) コンテンツビジネスの事例

ソフトバンクではYahooのコンテンツをモバイルにも対応させ、コンテンツビジネスを展開する予定である。auでは昨年頃より、音楽コンテンツの配信を強化しているほか、NTTドコモでも同様の動きが見られる。

